総務常任委員会　付帯意見　　　　　　　　　　　　　　　　　 2017.5.31

本件補正予算は、鎌倉市議会が2月定例会最終日に賛成多数で可決させた平成29年度一般会計当初予算案の修正案において削除した鎌倉市観光協会への運営費等補助金を交付しようとするものである。

議会としては、人件費の約8割をはじめとして経営全般において鎌倉市からの補助金、すなわち公費に依拠するところが大きい協会に対しては、自主的な判断により、運営状況についての説明責任を積極的に果たす姿勢を求めるものである。

　また、第69回花火大会の実行委員会から退会し、現実行委員会には理事が市民有志として加わっているが、今後は協会の組織をあげて花火大会の成功に向けた取組みを進めるよう要望する。

市においては、公費を拠出している立場から、補助金等を交付している事業が適正かつ効果的に行われているかのチェックにとどまらず、協会の組織運営が適正かつ透明性を保って行われているかについても把握に努めなくてはならない。協会との間で、信頼関係に基づく意思疎通の強化をはかるよう要望する。